

2021年度 前期 科目概要

現代社会を考えるための観光学

Tourism Studies for Thinking Modern Society

対面

| | |
|-----------|---|
| 科目提供大学名 | 大手前大学 |
| 担当教員 | 海老 良平（現代社会学部 現代社会学科 准教授） |
| 単位数 | 2 単位 |
| 最大授業定員 | 54 名 |
| 開講学期 | 前期 1 時限（10：50～12：20） 水曜日（4月7日～7月14日、5月5日の休日は授業実施） |
| 成績評価 | 毎回の授業に関する小レポート、授業中の発表、出席等を平常点とし、期末に提出するレポートで総合的に判断する。 |
| テキスト | テキストは使用せず、毎回配布するレジюмеと資料で授業を進める。 |
| 参考文献 | 国土交通省「観光白書」（国土交通省の HP からダウンロード可能） https://www.mlit.go.jp/statistics/file000008.html |
| 授業以外の学習方法 | 新聞やインターネット等から幅広く観光に関する情報収集をしてもらいたい。 |
| その他の特記事項 | 特になし |
| 講義概要 | 観光学とは観光の構造や要素、人々の観光行動などを多面的に分析、研究する学問である。20 世紀末から急速に進展するグローバル化やインターネット社会の中で世界の観光市場は大きな広がりを見せてつあり、また我が国においても 21 世紀の成長分野として観光が位置付けられていることもあって、観光をめぐる研究は重要分野の一つとして注目されている。本科目では観光学を広く理解することで、現代社会を観光の視点から考える力を身に付けることを目的とする。 |
| 授業計画・内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光学のあらまし 2. 旅と観光の歴史 (1) 一道と旅の歴史 3. 旅と観光の歴史 (2) 一聖地巡礼のいまむかし 4. 旅と観光の歴史 (3) 一団体旅行はどのように誕生したか？ 5. 観光の構造と要素 (1) 一世界遺産と日本遺産 6. 観光の構造と要素 (2) 一テーマパークはどのようにして始まった？ 7. 観光の構造と要素 (3) 一現代の観光客は何を求める？ 8. 観光をめぐる産業 (1) 一地域性を生かす宿泊ビジネス 9. 観光をめぐる産業 (2) 一AI 時代の旅行ビジネス 10. 観光をめぐる産業 (3) 一日本の陸海空と運輸ビジネス 11. 世界、日本の観光市場分析 12. 観光政策 (1) 一世界の観光客に日本は選ばれる国か？ 13. 観光政策 (2) 一万博で関西はどう変わる？ 14. 観光政策 (3) 一西宮市の観光都市戦略とは？ 15. 観光の将来と展望 |